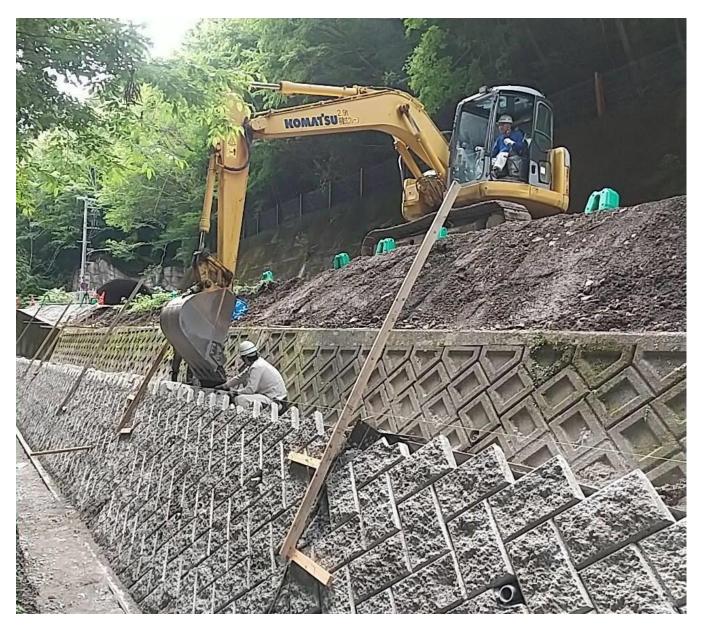
エコアクション21

ー 環境経営レポート ー



(川根本町 接岨峡線道路拡幅工事)

レポート対象期間 第37期 令和4年9月1日 ~ 令和5年8月31日

令和5年10月30日作成

株式会社 神田組

一目次一

環境経営方針	• •	• • •	• • •	• • •	• • •	• •	3
中米の恒田							
事業の概要	•	• • •	• •	• • •	• • •	•	4
組織図及び実	施体制	•	• •	• • •	• • •	•	5
環境経営目標	•	• • •	• • •	• • •		• •	6
(1) 第	37期の	目標値					
(2) 中	長期の目	標値					
環境経営活動詞	計画(第	37期)		• •	• • •	• •	7、8
環境への負荷の	の状況			• • •	• • •	• •	9
取組状況(第3	7期)、環	境経営	の取組	且み結り	果(第3	7期)	10
環境経営計画の	の取組結	果の評	価と数	で年度の	の取組に	内容	11, 12
環境関連法規の	の遵守状況	況		• •		• •	13
代表者による会	全体の評	価と見	直〕∙	指示	•		14

環境経営方針

【基本理念】

弊社は広く地域社会のインフラ整備を担う企業として 一人一人が環境に対して責任を持ち、経営効率を高め環 境負荷低減を実践する。

【行動指針】

- 1. 地球環境を保護し、自分達の健康を守る為にも省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量の削減に努める。
- 2. 再生可能エネルギーを積極的に活用し運用する。
- 3. 備品購入の際、グリーン購入を精査し検討する。
- 4. 環境関連の法律を遵守する。
- 5. 環境保全の意識向上の為に常に考え、且つ勉強会等で学び周知する。
- 6.水の消費世界一の私達の国日本、水使用量の削減を意識し行動する。
- 7. 環境に配慮した事業展開を実施する。
- 8. 環境経営の継続的改善に努める。

改定日 2022年 9月 1日 制定日 2010年 12月 25日 株式会社 神 田 組 代表取締役 神 慶 ー

事業の概要

事業所名及び代表者氏名

株式会社 神田組

代表取締役 神田 優一

所在地

本社 : 静岡県榛原郡川根本町千頭 924-1

TEL: 0547-59-2270, FAX: 0547-59-2592

修理工場 : 静岡県榛原郡川根本町千頭 833-1 資材置場 : 静岡県榛原郡川根本町千頭 957

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 白瀧 富士雄 EA21 事務局担当者 : 生田 勝彦

同上 連絡先: TEL: 0547-59-2270、FAX: 0547-59-2592

E-mail: ikuta@kanda-gumi.co.jp

事業活動の内容

建設業:土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、水道施設工事業、電気工事業

許認可:土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、水道施設工事業

静岡県知事許可(特一2)第 1422 号 有効期間 令和7年12月7日まで

電気工事業 静岡県知事許可(般-2)第 1422 号 有効期間 令和7年12月7日まで 産業廃棄物収集搬事業 静岡県知事許可 第02201102291 号 有効期間 令和10年3月13日まで

一般廃棄物収集運搬事業 静岡県知事許可 有効期限 令和4年7月1日

産業廃棄物の種類:廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず

一般廃棄物の種類:長島ダム管理署管内に漂着した流木、落ち葉類 ※収集運搬は自社運搬のみ

事業の規模

活動規模	単位	31 期	36 期	第37期
請負件数(住宅戸数)	件	195	190	184
売上高	百万円	353	837	524
従業員数	人	30	26	25
延べ床面積	m²	1,273.47	993.37	993.37
運搬車両	台	24	25	25
重機その他	台	19	19	19

※運搬車両 車両台帳による

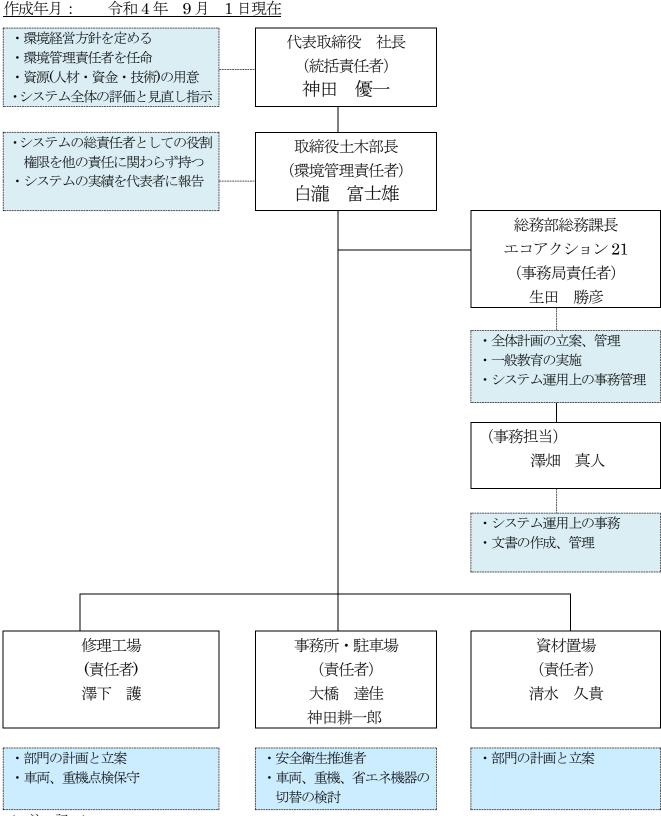
※延べ床面積は事務所床面積、資機材置場面積、工場作業所等床面積の合計

節囲対象

対象組織:株式会社神田組 本社・修理工場・資材置場

対象活動:土木工事業、とび・土木工事業・石工事業、舗装工事業、水道施設工事業、電気工事業

組織図及び実施体制



- < 注 記 >
- ※ カッコ内は、エコアクション21の役割分担を示す。
- ※ エコアクション 21 の活動実施・運用の進捗状況は、各部署の担当者が確認し報告する。
- ※ フルネームの個人名記載は現状"迷惑メール"等の影響は無しですが、次回以降は削除する予定です。

環境経営目標

(1) 第 37 期の目標値

項目	単位	基準年度の実績値 (31 期)	今年度の目標率 (31 期比) %	第 37 期の目標数値
二酸化炭素排出量	k g -CO2	224,608	-2.2%	219,666
購入電力量	k Wh	14,931	-0.4%	14,333
灯油	リットル	676	-5%	642
液化石油ガス(LPG)	k g	10	$\pm 0.0\%$	10
ガソリン使用量(車両)	パーセント	目標使用量+4.0	目標使用量比±0.0%	+4.0以下
軽油使用量 (車両)	パーセント	目標使用量+3.86	目標使用量比±0.0%	+3.86 以下
水使用量	m³	115	-3%	111.5
産業廃棄物排出量	トン	9.79	-4%	9.4
一般廃棄物排出量	トン	0.27	-3%	0.26
グリーン購入	点	22/82	_	_

第31期 平成28年 9月~平成29年 8月 グリン購入は努力目標とし数値設定しない

(2) 中長期の目標値

※ 中長期の目標は、第31期の実績を基にして、その何%削減を目指します。

項目	第 36 期目標 (%)	第 37 期目標 (%)	第 38 期目標 (%)
二酸化炭素排出量	-2.2%	-2.2%	-2.2%
購入電力量	-0.4%	-0.5%	-0.6%
灯油	-5%	-5%	-5%
液化石油ガス(LPG)	±0.0%	$\pm 0.0\%$	±0.0%
ガソリン使用量	目標使用量比±0.0%	目標使用量比±0.0%	目標使用量比±0.0%
軽油使用量	目標使用量比±0.0%	目標使用量比±0.0%	目標使用量比±0.0%
水使用量	-3%	-3%	-3%
産業廃棄物排出量	-4%	-4%	-4%
一般廃棄物排出量	-3%	-3%	-3%
グリーン購入	_	_	_

第31期 平成28年9月~平成29年8月 第36期 令和3年9月~令和4年8月 第37期 令和4年9月~令和5年8月 第38期令和5年9月~令和6年8月

ガソリン、軽油使用量目標の設定は、目標(第 31 期基準実績燃費)とする燃費で走行した時に、使用が見込まれる燃料量と実際に使用された燃料量の比

環境経営活動計画

No.	環境活動の具体的な取組み項目	取組内容など	責任者	主要部署
1	二酸化炭素排出の低減(電力量、化石燃料)	啓発ステッカー データ収集による排 出量低減の検討資料 作成と改善案の策定 目標基準値の再検討	白瀧富士雄	事務局
1)	 電力量削減の具体的な取組み項目 ① エアコンの設定温度を夏 28℃、ファンヒーターは冬20℃に設定 ② クールビズ (6月~9月)・ウォームビズ (12月~2月) を推奨、 ③ OA 機器・パソコン等で使用していない時の電源OFF ④ 昼休みの消灯、不要な照明設備の見直し 	ステッカーステッカー	澤畑真人 森下祐佳子 澤畑真人 澤畑真人	総務部
2)	全車両について、目標燃費を周知してエコドライブを推奨し、ガソリン・軽油の燃費改善 ① 不必要なアイドリングの禁止 ② 急発進・急加速・急減速・急停止の禁止(4つの急) ③ 早めのシフトアップ、エンジンブレーキの積極使用 ④ エアコンの使用を控える ⑤ 計画的な運行ルートで行動し、忘れ物を無くす ⑥ 不要な荷物を降ろし、タイヤの空気圧が適正かチェックする	ステッカー 走行距離記録表継続 エコドライブキャン ペーンなどで、社員 の意識向上を図る	大橋達佳 各車両 担当者	土木部
3)	効率の良い省エネ型の設備・機器類の導入 ① 設備・機器の買い替え時期に、省エネ型に配慮する ② 買い替え時期に低排気・低公害車両やエコカーの導入を検討する	対象と考えられる重 機の検証をする 走行距離記録表 重機燃料記録表	大橋達佳	土木部
4)	再生可能エネルギー機器の推奨	二酸化炭素排出量削減に協力する	大橋達佳 全社員 全社員	全社
2	廃棄物排出量削減及びリサイクル	3 R の推進及び分別 の強化	白瀧富士雄	事務局
1)	廃棄物排出量の削減 ① コピー用紙の両面使用や縮小印刷の実行 ② 業務連絡に電子メール・電子 FAX を利用し、ペーパーレス化に努める ③ 電子契約、電子見積の推進 ④ 電子マニフェストシステムの適切な運用	排出量を記録しデー タを把握する	大村・森下 " " 工事担当者	土木部総務部
2)	リサイクルの推進① 封筒・段ボール・木枠などを発送容器・包装に再利用する② 段ボール、雑誌等の紙類のリサイクル③ ペットボトル、瓶、缶類等飲料容器のリサイクル	置場を設定し分別の 強化を図る 掲示板を設置し社員 への3Rの啓発	森下祐佳子	総務部

3	水使用量の削減	啓発ステッカー	白瀧富士雄	事務局
1)	洗車・掃除用水の節約	ステッカー	神田耕一郎	土木部
2)	配管箇所の水漏れ点検(毎月1日)を実施し、利用時の蛇 口開放時間に留意する	定期的に確認する 水漏れ点検表	生田勝彦	総務部
4	グリーン購入の推奨	購入品目、価格等の 実態を調査し購入の 利点があるか検討す る	大村道代	総務部
5	地域貢献活動 ① 小・中学校での「古紙回収活動」に協力し新聞・雑誌を提供する(R5.5.27の1回) ② 地域コミュニティーでの草取り・清掃活動に参加・協力する(R5.3.16) ③ 再生可能エネルギーの推奨	「資源回収」に協力 道路美化に協力 CO2 排出量削減に 協力	生田勝彦	総務部
6	環境に配慮した土木工事の施工方法の導入 静岡県リサイクル認定品の活用	排対型重機を積極的に使用していく、 伐採面積の縮小化 受注工事の環境負荷 低減 静岡県リサイクル品 一覧から適用できる 物を検討していく	白瀧富士雄	土木部

環境への負荷の状況

		単位	第36期	第37期	前年
	1	, ,	9月~8月	9月~8月	比較(%)
①総エネルギー投入量	購入電力	kWh	16,613	16,683	+0.42
	灯油	L	799.65	455.25	-43.0
	ガソリン使用量	L	17,407.1	18,955.3	+8.89
	軽油	L	39,656.7	68284.4	+72.19
	LPガス	kg	0	0	±0.0
②水資源投入量	上水	m³	84	56	-33,33
③温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO2	152,763.8	229,391.56	+47.6
④工事件数及び	工事等の件数	件	190	184	-3.15
設計等の件数	設計等の件数	件	2	2	±0.0
	環境負荷低減に資する設計	件	2	2	±0.0
5廃棄物等総排出量	再使用	t			
	再生利用	t			
	熱回収	t			
	単純焼却	t	0.244	0.61	+150
	その他 (中間処理)	t			
⑥廃棄物最終処分量	最終処分量	t	0.244	0.61	+150
7排水量	公共用水域	m³	84	56	-33.3
	下水道	m³			
	BOD	g			

コメント:

第36期 令和3年9月~令和4年8月 第37期 令和4年9月~令和5年8月

取組状況(第37期)

項目	日付	取組状況	担当
二酸化炭素排出量の低減	導入済	掲示板の作成、関係資料を掲示し周知と社員の意識 向上を図る	事務局
電力量削減	導入済	啓発ステッカーでの周知	事務局
エコドライブ	導入済	車両ごとに平均燃費を算出し燃費目標策定	全社員
省エネ機器、低排気車両の購入を検討	導入済	走行距離記録表・重機燃料記録表・その他台帳によ る切換えの検討	大橋
再生可能エネルギー機器の推 奨	導入済	再生可能エネルギー推奨	全社員
コピー用紙の両面使用	導入済	コピー用紙置場の分別	全社員
リサイクル	導入済	3 Rの推進	生田
洗車・掃除時の節水	導入済	啓発ステッカーでの周知	事務局
水漏れ点検の実施	導入済	継続	生田
グリーン購入	導入済	購入の検討	大村

環境活動の取組結果(第37期)

No.	項目	単位	第37期実績値	目標値	目標(%)	実績値%	成果
1	二酸化炭素排出量	kg - CO2	229,391.56	219,666.0	-2.2	+4.43	×
2	購入電力	kWh	16,683	14,871	-0.5	+12.18	×
3	灯油使用量	リットル	455.25	642	-5	-29.0	©
4	LP ガス使用量	kg	0	10	±0	-100	©
5	ガソリン使用量	パーセント	+9.9	+4 以下	±0	+147.5	×
6	軽油使用量	パーセント	-11.0	+3.86以下	±0	-384.97	©
7	水使用量	m³	56	111.5	-3	-49.78	©
8	産業廃棄物排出量	トン	296.412	9.4	-1	+3,053.3	×
9	一般廃棄物排出量	kg	610.3	260	-3	+137.43	×
10	グリーン購入	点		_	_	_	_

実績値(%) = (1 一実績値/目標値) $\times 100$ で計算 ガソリン、軽油使用量は目標とする各車両の燃費に対して $\pm \%$ 購入電力の CO2 排出係数は、中部電力ミライズ㈱の 0.486 kg-CO2/kWh を使用。

環境活動計画の取組結果の評価と次年度の取組内容

No.	項目	評価	第 37 期 評価コメント	第 38 期取組內容
1	二酸化炭素排出量の 低減	×	目標は達成できなかったが、建設機 械の入れ替えや古い機械、車両の売 却により、軽油使用量を減らすこと に貢献できた。 目標基準値の最適化を検討する。 残土処分場の終了処理にイレギュ ラに軽油の使用量が一時的に増え た。	地球温暖化防止対応策を具体的に 検討し「建設事業」の環境目標に たいし活動を具体的にし部門別に 活動計画を策定、第 38 期以降の 目標の設定に繋がっていくように 取組んでいく。
	エアコン・ヒーターの設定温度	©	啓発ステッカーで周知徹底できた。 猛暑によるエアコン使用量が増加 した設定温度を下回り設定する事 があった。	継続
1)	クールビズ ウォームビズ	0	節電アイテム資料・ウォームビズ商 品のカタログを回覧。 緑のカーテンを設置。	継続
	機器等の待機電力 OFF	0	啓発ステッカーで周知徹底 PCディスクトップ画面に節電マークをつけ電源OFFを徹底。	継続
	不要な照明の消灯	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。	継続
	不必要なアイドリング の禁止	0	啓発ステッカーで周知徹底できた 車種による使い分けを行う。	継続
	急発進・急加速・急減速・急停止の禁止 (4つの急)	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。 朝礼にて周知させた。	継続
2)	早めのシフトアップ エンジンブレーキの 積極使用	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。 朝礼にて周知させた。	継続
	エアコンの使用を控え る	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。 熱中症に注意した。	継続
	計画的な運行ルート 忘れ物をしない	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。 朝礼にて周知させた。	継続
	不必要な荷下ろし タイヤの空気圧確認	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。 朝礼にて周知させた。	継続
3)	省エネ型設備機器 低排気車両の導入	©	設備・機器の買換え時期に、省エネ型を検討した。車輛、重機の買換え時期に低排気、低公害、エコカーの導入を検討し車輛1台を入替。	継続

4)	再生可能エネルギー 機器の導入推奨・売電	0	クリーンエネルギー機器の 調査、購入の検討を進めた。	再生可能エネルギーの売電による 供給で二酸化炭素排出量削減に貢献していく。
2	廃棄物排出量削減及び リサイクル	0	排出量記録表を作成、実績を把握すると共に今後の検討資料にする。 掲示板で意識の向上、周知徹底ができた。	産業廃棄物は活動計画を策定し削減及び周知を図る 一般廃棄物については削減に努める
1)	廃棄物排出量の削減	0	現状の問題点の洗い出し。	分別の徹底と削減 3R の徹底で排出量の削減に努め る
2)	リサイクルの推進	0	こまかく分別し資源の出し方も指 導、社員全員が協力してくれた。	朝礼、掲示板等で推進・周知を図る
3	水使用量の削減	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。	継続
1)	洗車・掃除用水の節約	0	啓発ステッカーで周知徹底できた。 で省エネ節水	継続
2)	水漏れ点検	0	水漏れ点検を実施。点検を実施していることで社員にも周知できた。	継続
4	グリーン購入の推奨	0	購入品目・価格・購入実績を把握し 経営改善につながる製品のリスト アップ及び購入を進める。	前年度の実績より購入品のリスト 化
5	地域貢献活動	0	小中学校の資源回収に紙、ダンボール等の提供ができた。 再生可能エネルギー機器の推奨で 地域の二酸化炭素排出量削減に協力できた。	資源回収への協力 再生可能エネルギー機器の推奨 グリーンカーテンの推奨と設置
6	環境配慮型土工の施工	0	グリーン購入法特定資材の利用など環境に配慮した施工ができた。	環境に配慮した工法を具体的に分析しコスト削減等との整合性を図る

環境関連法規の遵守状況

1. 環境関連法規等の取りまとめと遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は無し。 遵守確認者:白瀧 富士雄

遵守確認日: R05.8.31

適用対象	法規・条例・規制	水のを確認した相来、	備考	遵守
過 用 刈 家	公 规·未例·规则	週川円分または焼削基中胆		確認
	建設リサイクル法	指定物品のリサイクル化	再資源化等の実績記の作 成・報告・保管義務	0
	建設業法	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	0
		廃棄物収集・運搬及び処分業 者との委託契約	契約(書)の締結、 処理業者の許可証確認	0
		マニフェストの保管・管理	A、B2,D,E 票を保管 5年間	0
建 設 業 一般住宅建築	廃棄物の処理及び	マニフェストの期間内返却 の確認	90 日以内または 180 日 以内の返却確認	0
土木工事施工	清掃に関する法律	投棄禁止	不法投棄を行わない	0
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		廃棄物の悪臭・飛散防止	仮置場や車両荷台を養生 シートで覆う等	0
		引渡日以降3日以内に報告 電子マニフェスト管理	引渡日から3日以内に情 報処理センターに報告	0
		紙マニフェストの年間集計 と交付等状況報告の提出	6月30日までに知事また は市長宛に報告	0
	静岡県産業廃棄物の適	産業廃棄物管理責任者の選任	責任者 白瀧富士雄	0
	正な処理に関する条例	産業廃棄物処理委託先の現地確認	委託時、年1回現地確認	0
	家電リサイクル法	指定家電の適正処分	テレビ・冷蔵庫・ エアコン・洗濯機等	0
	資源有効利用促進法 (PC リサイクル法)	OA 機器の適正処分	パソコン・モニタ・他	0
	環境基本法	一般的な自主努力		_
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	_
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物 の循環的な利用促進	_
	グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	_
市米 北入6m	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金支払い	0
事業者全般	日期中ソリイクル伝	対象表有、100分段し	廃車の適正な処分	_
	消防法(危険物の取扱い)	火災の予防	危険物施設・物品の取扱 いと火災予防対応	0
		浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	_
	浄 化 槽 法	保守点検の実施	3か月に1度	0
	17 14 14	定期洗浄	毎年 10 月	0
		定期水質検査(第 11 条検査)	毎年 8月	0
	フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器の点検	3か月に1回以上	0

コメント: 「一」の符号は、この期間中該当なしの意味です。

2. 違反、訴訟等の有無 関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟等も、ありませんでした。

代表者による全体評価と見直し・指示

L±=	₽ ↑ ⇔¢	 管理責任者から代表者への	24.	責任者氏名	白瀧 富士雄		
' 坏	・児・	号性負性有から10枚有べり	似口门台」	作成年月日	令和5年 11月 1日		
見直し関連情報		項 目	確認(必要に応じ評価・コメントを記載)				
	1	EA21文書					
	2	環境経営目標及び目標達成状況	■電力、ガソリン、産廃排出量、一般廃棄物で目標未達成				
	3	環境経営計画及び取組実施状況	■取組結果は一部良好				
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	■適正に遵守出来ました				
	5	外部コミュニケーション・対応記録	■周辺住民からの苦情・要望等は無し				
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	■特に取上げるべき大きな問題点は無し				
	7	取引先、業界、関連行政機関、その他 の外部動向	■電力、化石燃料の価格高騰に注視している				
	8	その他					
ГА	Ŀ ≠ .	キにより合けの証供に目点し	小の紅田	代表者氏名	神田 優一		
'1	交り	者による全体の評価と見直し	,」の結果	作成年月日	令和5年11月1日		

全体評価 評価日 R5年11月1日		前期36期に新しい重機に入れ替えた事、ICTの推進で効率的な重機の稼働ができたことにより、軽油の少量を抑制できた、今後がリリン使用量の抑制にさらに取り組んでいく必要があり、目標値の検証を含め取り組んでいく。				
		第 37 期導入機戒 ハイジェット 1 台入替購入 アイドリングストップ機構付き				
見直し巧		頁目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項等		
1	環境経営方針		有 ・■無			
2	環境経営目標・計画		有 ·■無			
3	環境経営計 と取組項目		有 ·■無			
4	組織・実施	体制	有 ・■無			
5 その他のシステム要素			有 ·■無			
6 その他			有 ・■無			